

# ISSP ワークショップ

## 物性女性若手研究交流会 2022

【日時】2022年11月15日(火) 10:00-16:00

【場所】東京大学物性研究所 6F 大講義室

【提案者】[代表] 三輪真嗣、井手上敏也、井上圭一、押川正毅、小濱芳允、中島多朗、野口博司、藤野智子、松田巖、Lippmaa Mikk (所属は全員が東京大学物性研究所)

理工系の研究分野で少数である女性研究者の活躍を推進するため、物性研究所は 2021 年度より ISSP Women's Week を開始しました。今年度は 11/14 の週を ISSP Women's Week 2022 と定義し、研究会や複数のセミナー、そして FD・SD 研修を行いました。具体的には研究会及びセミナーでは女性研究者による講演を準備し、FD・SD 研修では女性研究者が少数であることの一因であるアンコンシャス・バイアスに関する研修を行いました。この ISSP ワークショップ「物性女性若手研究交流会 2022」は ISSP Women's Week 2022 に行われたものです。物性女性若手研究交流会 2022 は口頭発表・ポスター発表・

パネルディスカッションの 3 部から構成され、様々な物性科学分野の女性の大学院生及び若手研究者を 25 名招待し、これらの研究者間及び物性研究所の構成員とのネットワークを構築することにより、女性研究者の活躍に資することを目的として開催しました。また、ワークショップ運営のために物性研究所の全部門・グループから所員 1 名以上を募ったワーキンググループが構成され、研究会を運営しました。

当日までに 43 名の現地参加登録と 20 名のオンライン聴講登録があり、当日は 24 名の若手女性教員/研究員及び大学院生全員が物性研究所 6 階で発表を行い、盛況のうちに終えました。研究会のプログラムは下記のとおりです。

### プログラム

10:00 所長挨拶、趣旨説明

- |                      |                                |
|----------------------|--------------------------------|
| 10:15 村田慧 (東大生産研)    | 「有機金属フタロシアニン錯体の光機能開拓」          |
| 10:30 杉浦菜理 (東北大金研)   | 「熱測定を用いた有機伝導体における強磁場超伝導相の観測」   |
| 10:45 水津理恵 (名大理)     | 「強相関分子でつくる二次元構造体の構造と物性探索」      |
| 11:00 新屋ひかり (東北大通研)  | 「スピントロニクス材料の探索に向けた第一原理計算手法の開発」 |
| 11:15 野澤恵理花 (お茶大基幹研) | 「複雑系アプローチで目指す新食感食品の創出」         |
| 11:30 若林里衣 (九大工)     | 「水圏機能ペプチド超分子の創製と細胞作用」          |

13:00 ポスター講演

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| ・石井梨恵子 (東大物性研)        | 「物質合成技術～新物質の開発を目指して～」   |
| ・石橋未央 (東大理)           | 「フェリ磁性体を用いたレーストラックメモリの開発」   |
| ・北岡幸恵 (産総研新原理)        | 「第一原理計算による磁性材料の解析」  |
| ・北村未歩 (KEK 物構研)       | 「KEK-PF BL-28A におけるマイクロ ARPES システムの開発」                                |
| ・小見山遥 (京大化研)          | 「表面弾性波を用いた共振器マグノメカニクス」  |
| ・今野雅恵 (東大物性研)         | 「微生物ロドプシンのメカニズム研究と植物オプトジェネティクスへの応用」                                   |
| ・Xiaoni Zhang (東大物性研) | 「Topological atomic sheet of hydrogen boride, synthesized from YCrB4」 |
| ・清水未来 (東大物性研)         | 「低温液化室の業務紹介ー女性技術職員と大型設備の運用ー」  |
| ・田財里奈 (京大基研)          | 「新規カゴメ超伝導 AV3Sb5 の量子相転移の理論」   |
| ・辻川夕貴 (東大物性研)         | 「二次元表面上の特異なホウ素形状の研究」  |

- ・中川真由莉（東大物性研） 「『非同期サンプリング』を使ったテラヘルツ分光システムの開発」
- ・Mingxuan Fu（東大理） 「Strange metal and quantum criticality due to entanglement between multipoles and conduction electrons」
- ・吉岡晴香（東大物性研） 「原子状水素吸着 Cu(997)表面におけるギ酸の反応」
- ・浦井瑞紀（東大工） 「NMR を用いた強相関分子性物質の磁性研究」
- ・田中のぞみ（阪大レーザー研） 「高強度極端紫外光と物質の相互作用」
- ・María del Carmen Marín Pérez（東大物性研） 「Functional conversion of light-driven outward proton pump rhodopsin」
- ・八木亜樹子（名大理） 「 dendリマー担体を鍵とした難溶性 $\pi$ 共役ポリマーの合成」
- ・松倉里紗（近大生物理工） 「分子動力学シミュレーションを用いた HSP シャペロンサイクルの解明と新規薬剤の作用機構」

15:00 パネルディスカッション

16:00 終了

本研究会の特色として、パネルディスカッションの実施があります。このパネルディスカッションでは、進路・キャリアパスの選択、研究効率化、ライフイベントとの両立をトピックスとして議論が行われました。

ひとつ残念であったことは、女性研究者の方が産休や育休を取得する際、「研究室が忙しくて大変そうだと取得しづらい」「卒業シーズンだと休暇中も学生と連絡を取り続ける必要がある」ということが往々にして行われている事実を知ったことです。本来、このような休暇は我々が暮ら

す資本主義社会における労働者の権利であり「卒業シーズン等、研究室が忙しいかどうか・代わりの人員を確保できるかどうか」といったことと無関係に行われるべきものです。上司にあたる研究室の主宰者やグループの年長者は率先して環境を整える必要があります。

研究業界において『研究の世界は独特だから』という理不尽な理由でコンプライアンス違反が起きず、研究者の前に労働者として人として当たり前の暮らしが当たり前のようにできる日を願っています。

文責：三輪真嗣

物性研究所量子物質研究グループ

男女共同参画・ダイバーシティ推進委員会 2022 年度委員長



集合写真





ポスター講演の様子



パネルディスカッションの様子